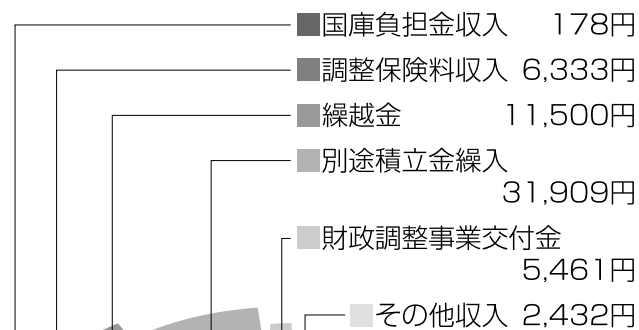
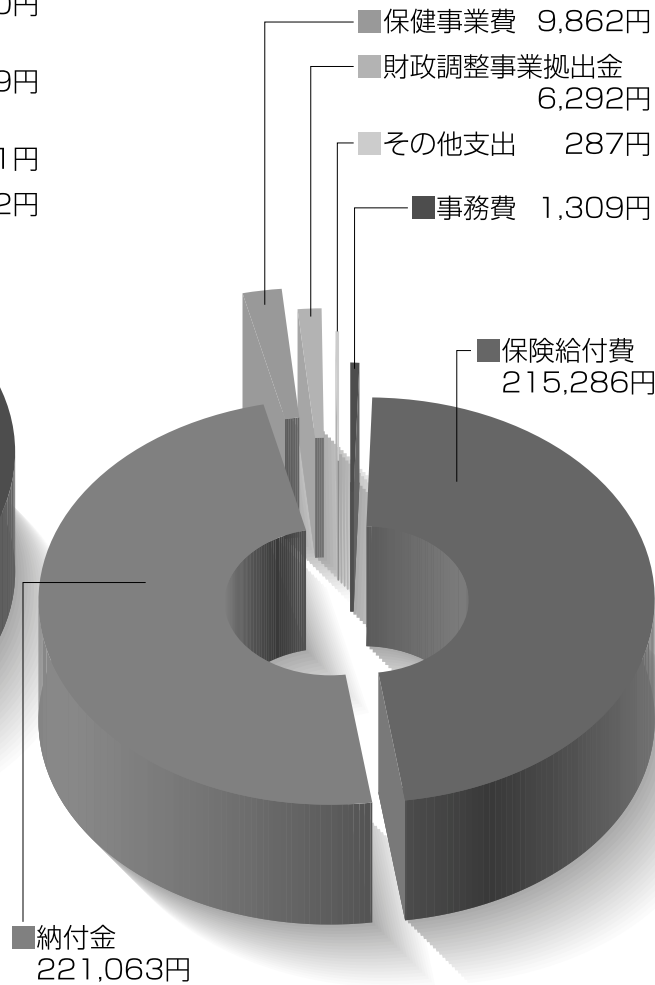


1人あたりでみる平成21年度決算

収入合計 468,135円



支出合計 454,099円



平成21年度

決算が承認されました

保険料収入の5割以上が高齢者医療制度への財政支援
別途積立金から2億3000万円を充当する厳しい決算に

先の組合会において、当健保組合の平成21年度の決算が可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

一般勘定

(単位 千円)

収入

科目	金額
保険料	2,957,603
国庫負担金収入	1,285
調整保険料収入	45,648
繰越金	82,889
別途積立金繰入	230,000
財政調整事業交付金	39,366
その他収入	17,523
収入合計	3,374,314

経常収入合計 2,975,643

支出

科目	金額
事務費	9,432
保険給付費	1,551,779
納付金	1,593,414
保健事業費	71,088
財政調整事業拠出金	45,353
その他支出	2,081
支出合計	3,273,147

経常支出合計 3,227,792

納付金の内訳

科目	金額
前期高齢者納付金	733,868
後期高齢者支援金	659,892
病床転換支援金	537
退職者給付拠出金	142,608
老人保健拠出金	56,509
合計	1,593,414

経常収入支出差引額 ▲252,149

決算の基礎数値(年間平均)

被保険者数	計	7,208人
	男	6,685人
	女	523人

平均標準報酬月額	計	344,542円
	男	352,929円
	女	237,374円

一般保険料率 ※調整保険料率を含む	計	78.00/1000
	事業主	46.32/1000
	被保険者	31.68/1000

介護勘定

(単位 決算/千円 1人あたり/円)

収入

科目	金額	1人あたり額
介護保険収入	222,915	67,817
繰越金	6,000	1,825
収入合計	228,915	69,642

支出

科目	金額	1人あたり額
介護納付金	226,006	68,758
介護保険料還付金	16	5
支出合計	226,022	68,763

収支差引額 2,893

決算の基礎数値(年間平均)

徴収対象第2号被保険者数	計	3,287人
--------------	---	--------

平均標準報酬月額	計	413,556円
----------	---	----------

介護保険料率	計	10.4/1000
	事業主	5.2/1000
	被保険者	5.2/1000

健保組合を取り巻く状況

平成20年に発足した高齢者医療制度のうち65〜74歳を対象とした前期高齢者医療制度は、国税の負担ゼロで「制度間(国民健康保険と健保組合などの被用者保険間)の高齢者の医療費負担の調整」の名のもとに、健保組合に多大な納付金の負担を強いました。その結果、1500弱の組合全体で健保財政は平成20年度決算で3060億円、21年度予算段階で6152億円の赤字となりました。21年度は景気悪化でさらに1300億円の収入悪化が見込まれ、医療費の対前年比増加率のアップ傾向と相まって収入減、支出増が顕著となりました。健保組合の9割が赤字となり、各健保組合は積立金の取り崩しや、さらには保険料率の改訂で対応するという非常に厳しい財政運営を余儀なくされました。

住友ゴム健保の収支の状況

経常収入支出差引額
△2億5215万円

当健保組合の収入の大部分はみなさんと事業主が相互負担した保険料です。この保険料収入は主にみなさんへの保険給付や健康づくり事業の実施、高齢者医療制度などの財政支援に支出しました。

収入

保険料収入は、保険料率の引き上げというプラス要因に対し、標準報酬の低下(▲6%)および賞与額の低下というマイナス要因により、前年度に比べ実質4000万円ほどの増加にとどまりました。利子収入や施設利用料収入などを加えた収入合計は33億7431万円、繰越金、別途積立金繰

入等を除いた経常収入合計は29億7564万円となりました。

支出

保険給付費が前年度に比べ6944万円増加しました。さらに高齢者医療制度等への納付金が増加したことにより、保険料収入の5割以上を占めたことから保険給付費と納付金だけで保険料収入を超える額となりました。保健事業費や事務費などを加えた支出合計は32億7315万円、経常支出合計は32億2779万円となりました。

収支

以上の結果、組合財政の健全性を示す経常収入支出差引額では2億5214万9千円の高額な赤字となりました。収入不足には、前年度の決算残金から繰越金として8288万9千円と、別途積立金から2億3000万円を充当することで対応いたしました。

介護保険の収支

介護保険収入は、保険料率を0.2ポイント引き下げ千分の10.4で運営しましたが、40歳から64歳の介護保険第2号被保険者の増加により、予算比106.1%となる2億292万円でした。

一方、支出は、ほぼ予算どおりに推移しました。その結果、収支残金は289万3千円となりました。

みなさまにおかれましては、健保組合を取り巻く厳しい情勢をご理解のうえ、当健保組合の特定健診・特定保健指導、人間ドック補助、電話健康相談などの保健事業を積極的に活用し、健康づくりに励んでいただきますようお願いいたします。